

報告書抄録

ふりがな	びんまんじいせき							
書名	敏満寺遺跡							
シリーズ名	名神高速道路(仮称)多賀スマートインターチェンジ建設に伴う発掘調査報告書							
編著者名	重田 勉							
編集機関	滋賀県文化スポーツ部文化財保護課			公益財団法人滋賀県文化財保護協会				
所在地	滋賀県大津市京町4丁目1番1号			滋賀県大津市瀬田南大萱町1732番2号				
発行年月	令和5年(2023年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		日本測地系		調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
びんまんじいせき 敏満寺遺跡	しがけん 滋賀県 いぬかみぐん 犬上郡 たがらちょう 多賀町 びんまんじ 敏満寺	254436	443-022	35度 12分 49秒	136度 17分 24秒	20200901 ～ 20210319	3,585㎡	(仮称)多賀 スマートイ ンターチェ ンジ建設工 事
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
敏満寺遺跡	散布地	旧石器時代		-		ナイフ形石器		
	集落跡	縄文時代		竪穴建物		縄文土器・石鏃・ 剥片・矢柄研磨器		
	寺院跡	室町時代		掘立柱建物・ 土坑・溝		土師器・陶器		
要約	<p>中世に盛期を誇った敏満寺を中心とした遺跡の調査である。平成期に確認された敏満寺に関連する遺構・遺物が出土し、寺域の北の境界線とみられる溝を検出した。</p> <p>一方、旧石器時代のナイフ形石器や、県内でも事例が少ない縄文時代草創期頃とみられる幕営的な住居跡や、土器・矢柄研磨器・石鏃なども出土した。これまでの調査の結果、青龍山の山麓では、敏満寺の造営だけでなく、旧石器・縄文・弥生・奈良時代の遺構や遺物が確認されている。これらの資料は、多賀町域の歴史を知る上で重要である。</p>							